

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第41週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (41 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。
5 類感染症：アメーバ赤痢 1 例、カルバペネム耐性腸内細菌感染症 3 例、
侵襲性肺炎球菌感染症 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70 歳代	男	肺結核及び胸膜炎	呼吸困難
			80 歳代	女	肺結核及び粟粒結核	咳、痰、発熱
		都城	80 歳代	女	肺結核	咳
		延岡	80 歳代	女	粟粒結核	発熱
5類	アメーバ赤痢	宮崎市	30 歳代	男	腸管アメーバ症	粘血便
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	宮崎市	70 歳代	男	-	肺炎 菌種: <i>Citrobacter koseri</i> (ESBL産生菌)
			60 歳代	男	-	肺炎 菌種: 肺炎桿菌
		都城	90 歳代	男	-	肺炎 菌種: 肺炎桿菌
	侵襲性肺炎球菌感染症	高鍋	60 歳代	男	-	頭痛、発熱、全身倦怠感、嘔吐、項部硬直、髄膜炎 ワクチン接種歴無し

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 635 人 (定点当たり 20.9) で、前週比 81% と減少した。前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱で、減少した主な疾患は溶血性レンサ球菌咽頭炎と手足口病であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【RSウイルス感染症】

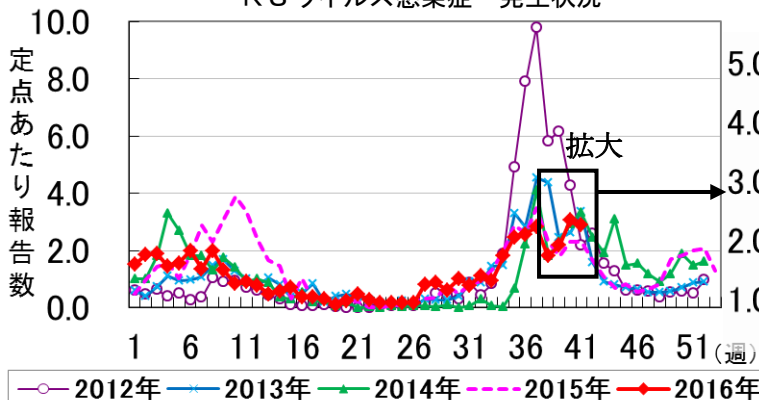
報告数は 104 人 (2.9) で、前週比 95% と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (2.5) の約 1.2 倍であった。日向 (9.8)、延岡 (9.0) 保健所からの報告が多く、年齢別は 1 歳以下が全体の約 9 割を占めた。

【手足口病】

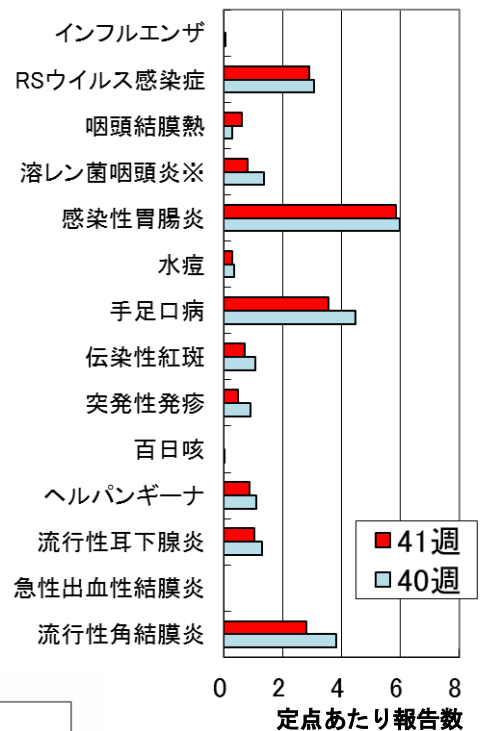
報告数は 128 人 (3.6) で、前週比 80% と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (1.8) の約 2.0 倍であった。日向 (6.3)、宮崎市 (5.9)、日南 (5.3) 保健所からの報告が多く、年齢別は別グラフに示す。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

RSウイルス感染症 発生状況

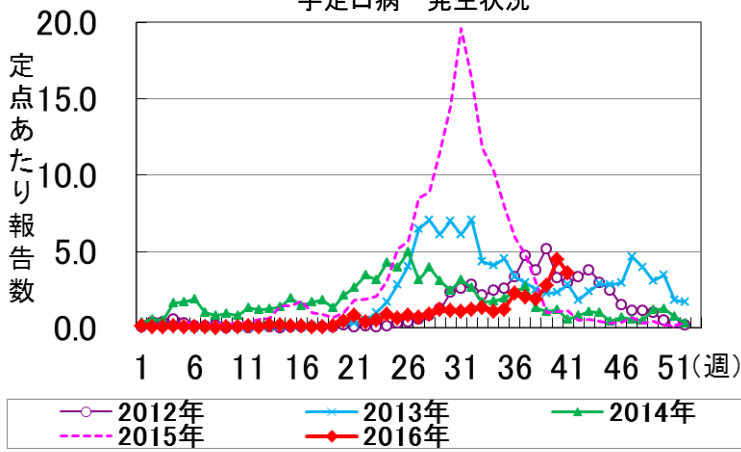


《前週との比較》

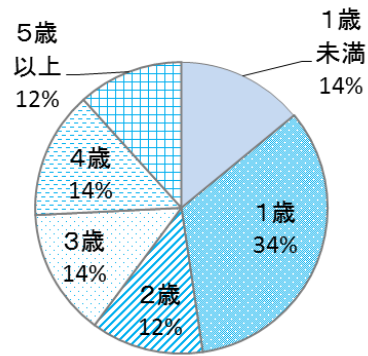


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

手足口病 発生状況



手足口病 年齢群別割合



★基幹定点からの報告★

- 無菌性髄膜炎：延岡保健所から報告があった。5～9歳が1例であった。
- マイコプラズマ肺炎：宮崎市(2例)、延岡、高鍋、日向(各1例)保健所から報告があった。0～4歳が4例、10歳代が1例であった。
- 感染性胃腸炎(ロタウイルス)：宮崎市保健所から報告があった。0～4歳が1例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	手足口病(5.9)
都城	なし
延岡	なし
日南	咽頭結膜熱(3.3)、手足口病(5.3)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	手足口病(6.3)
中央	咽頭結膜熱(3.0)

流行警報レベル開始基準値

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・手足口病(5.0)

🇯🇵 全国 2016 年第 40 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 40 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	355 例				
3類感染症	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	65 例	腸チフス	5 例
4類感染症	E型肝炎	4 例	A型肝炎	4 例	チクングニア熱	1 例
	つつが虫病	1 例	デング熱	9 例	日本紅斑熱	8 例
	マラリア	3 例	ライム病	1 例	レジオネラ症	65 例
	レプトスピラ症	2 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	9 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	16 例
	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6 例
	後天性免疫不全症候群	21 例	ジアルジア症	2 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	12 例	水痘(入院例)	1 例
	梅毒	69 例	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	1 例
	風しん	4 例	麻しん	5 例		

麻しんの報告数は5例で前週比約0.8倍と減少した。東京都(2例)、愛知県、大阪府(各1例)、九州地方からは熊本県(1例)より報告があった。年齢別では1～4歳から2例、30歳代、40歳代、50歳代から各1例ずつ報告があった。

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比108%と増加した。前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症であった。減少した主な疾患は伝染性紅斑と流行性耳下腺炎であった。

RSウイルス感染症の報告数は7,273人(2.3)で前週比134%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.98)の約2.4倍であった。山形県(7.1)、石川県(5.6)、新潟県(5.0)からの報告が多く、年齢別では1歳以下が全体の約7割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2016年 第41週(10月10日～10月16日)

疾病名		第40週	第41週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	3										
	定点あたり	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	110	104	13	7	36	2	3	2	1	39	1
	定点あたり	3.06	2.89	1.30	1.17	9.00	0.67	1.00	0.50	1.00	9.75	1.00
咽頭結膜熱	報告数	10	22	4	3		10		2			3
	定点あたり	0.28	0.61	0.40	0.50	0.00	3.33	0.00	0.50	0.00	0.00	3.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	49	29	16		1	6	2	2		2	
	定点あたり	1.36	0.81	1.60	0.00	0.25	2.00	0.67	0.50	0.00	0.50	0.00
感染性胃腸炎	報告数	215	210	42	48	9	42	31	31	3	1	3
	定点あたり	5.97	5.83	4.20	8.00	2.25	14.00	10.33	7.75	3.00	0.25	3.00
水痘	報告数	12	10	1		7			2			
	定点あたり	0.33	0.28	0.10	0.00	1.75	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	161	128	59	6	14	16	1	4	2	25	1
	定点あたり	4.47	3.56	5.90	1.00	3.50	5.33	0.33	1.00	2.00	6.25	1.00
伝染性紅斑	報告数	38	26	4	2	6	3	4	4		3	
	定点あたり	1.06	0.72	0.40	0.33	1.50	1.00	1.33	1.00	0.00	0.75	0.00
突発性発しん	報告数	33	17	7	2	2	1	2	2		1	
	定点あたり	0.92	0.47	0.70	0.33	0.50	0.33	0.67	0.50	0.00	0.25	0.00
百日咳	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	39	31	2	8	11		3			7	
	定点あたり	1.08	0.86	0.20	1.33	2.75	0.00	1.00	0.00	0.00	1.75	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	47	37	9	6	5		4	2	2	9	
	定点あたり	1.31	1.03	0.90	1.00	1.25	0.00	1.33	0.50	2.00	2.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	19	14	9	5							
	定点あたり	3.80	2.80	4.50	2.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数		1			1						
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	14	5	2		1			1		1	
	定点あたり	2.00	0.71	2.00	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00		1.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数		1	1								
	定点あたり	0.00	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:5、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2016年第1週～41週)

2類感染症	結核	169例(4)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	13例				
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	3例	重症熱性血小板減少症候群	8例
	つつが虫病	6例	デング熱	1例	日本紅斑熱	4例
	レジオネラ症	1例				
5類感染症	アメーバ赤痢	13例(1)	ウイルス性肝炎	3例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	8例(3)
	急性脳炎	10例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
	後天性免疫不全症候群	5例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	6例(1)
	水痘(入院例)	3例	梅毒	8例	播種性クリプトコックス症	3例
	破傷風	1例				

()内は今週届出分、再掲